特定非営利活動法人　なかのドリーム

2019 年　1 月 10 号

私たちは重症心身障害児者のサポート団体です　　H.P　http://nakanodream.main.jp/

〒164-0012　中野区本町 6-36-5-102　電話 03-6454-1230　fax03-6454-1231

「なかのドリーム 5 年目にあたり」

重症心身障害のある子どもの教育・療育の展望

私が肢体不自由養護学校（現在は特別支援学校）の教員になった 2 年後の 1979 年に養護学校の義務制が施行され、それまで就学猶予・免除という理由で教育の場から事実上排除されてきた子ども達が学校に通えるようになりました。同時に、訪問教育が教育制度に位置づけられました。

2007 年から、「特別支援教育」が位置づけられ、2012 年には教員が特定の医療的ケアを実施することが制度化されました。さらに、現在ではインクルーシブ教育の構築が進められています。福祉面では、児童福祉法の改正によって放課後等デイサービス事業が創設され、障害者差別解消法の施行などにより、障害児支援の強化が見られます。このように列挙すると、重い障害のある子どもにとって、素晴らしい社会の実現に近づいているように見えます。確かに、制度は着々と改善されてきています。しかし、制度はあるが、使えない、使いにくいなどの課題も山積していると思います。東京大学先端科学技術研究センター准教授の熊谷晋一郎氏によると「自立とは依存先を増やすこと」だそうです。今後、「なかのドリーム」が、子どもの大切な依存先として様々な課題を乗り越え、発展し続けることを願います。

なかのドリーム理事　松原豊（つくば大学体育系　教授）

特定非営利活動法人なかのドリーム 2019 年度通常総会報告

2019 年 5 月 25 日に通常総会を行いました。法人設立から今年度で 5 年目に入ります。皆様のご支援のおかげで事業を継続でき、感謝にたえません。

昨年度は国や区の看護師加配加算が取れて、経営的に安定してまいりました。「きょうだい児」支援のシンポジウム開催や、さまざまな研修会等への参加を通して、重症心身障害児への理解を深める啓発活動も行ってきました。平成 30 年度事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録などの決算諸表は、すべて総会において承認されました。ホームページに掲載いたしましたのでお読み取りください。今後とも信頼される法人運営に向けて努力してまいります。

おでんくらぶ事業所改修工事報告

2015 年 8 月の開所から 4 年経ち、この度おでんくらぶの床をフローリングにする工事をいたしました。ほかにも照明を LED に替え、事務所にも蛍光灯をつけました。工事の資金には、みなさまからの賛助会費、および寄付金をつかわせていただきました。ご支援いただいております多くのみなさまに、感謝申し上げます。

ご寄付いただきました！

東京都社会福祉協議会の善意銀行様を通じて、「キリングループ労働組合協議会 西関東支部様」より、ご寄付の贈呈がございました。

ご寄付は組合員の方々からの募金で、パルオキシメータ（血中酸素飽和度測定器）とパソコンをご購入、贈呈していただきました。

9 年前にもキリン福祉財団さまより助成金をいただき自主グループだった「親子の会おでんくらぶ」の活動が定期的に開催となった経緯があります。その時贈呈式に一緒にいった 5 歳の男の子が中学三年生に、小学一年生の女の子は高校生になり、今回も贈呈式に参加しました。善意銀行のみなさま、キリングループの皆さまに心より感謝申し上げます。

指にはめて使う、新様式のモニターです！

パソコンもいただきました。

善意銀行･キリングループ労協の皆様と

東京都プロフェッショナルナース研修

「東京都プロフェッショナルナース研修」に講師としてお招きいただき、保護者理事の松長と福満でおはなしさせていただきました。4時間と長時間にも関わらず、受講者の看護師さん方は熱心に私どもの話に耳を傾けてくださいました。

第1部では、医療的ケアを必要とする重症児者との生活と将来への不安や期待についてお話いたしました。第2部は、自主グループから法人立ち上げまでと、なかのドリームの事業紹介をいたしました。

第3部では、ワーキンググループに分かれ、看護師さん方が仕事をする上で不安に思っていることとその解決策について話し合っていただきました。病院ではない「施設」や「学校」など、地域生活で看護師が関わる場が増える中、医師がいない場所で看護師に委ねられる場面が多くなりつつあります。安全安心にケアをするための解決策として出されたご意見は、医師や家族とすぐに連絡がつくこと、テレビ電話などを利用した、より正確な指示の提供、障害児者は個別性が高く、初めてケアする方や定期的にかかわらない方への不安があるので、主治医からの指示書が常に更新されていること、主治医や学校医との連携が必要、など、大変参考になることばかりでした。現場での声をより広く社会に伝えていかなければいけないと思いました。

おでんくらぶ事業報告

＊登録者数：33名（児童発達支援6名・放課後デイサービス27名）
2019年4月【中野区18名　杉並区10名　渋谷区4名　目黒区1名】
＊月利用のべ人数と一日の平均利用人数、および利用率

12月	1月	2月	3月	4月	5月
82人	82人	86人	86人	83人	86人
3.57人	3.9人	3.74人	3.44人	3.46人	4.09人
71%	78%	75%	69%	69%	82%

【お母様からメッセージ】

「おでんさんが楽しいようで、帰ってきて満足気に一人でおしゃべりしている姿を見るととても癒されます。娘の大好きな本を見つけてくれたのもおでんさんです。私も安心してゆっくりする時間ができ、親子ともども助けていただいています。ありがとうございます！」

職員一同、みなさまの声を励みにお子さまのご支援に励んでまいります。
8月は土曜日を休業とさせていただきます、ご迷惑をおかけいたします。
★5月から管理者：福満、児童発達管理責任者：花川になりました。
★4月入社非常勤職員・宇佐美景子　村松勝久「宜しくお願いします！」

訪問介護なべ事業報告

＊利用者数：15名【中野区13名　新宿区1名　杉並区1名】

【ご利用者ご家族からメッセージ】

「人工呼吸器を使用している4歳の娘が、なべのヘルパーさんにお世話になっています。入浴のサポートや、お出かけの際の移動支援など様々な場面で支援に入っていただいて、大変感謝しております。娘の楽しい在宅生活のサポーターとして欠かせない存在であるヘルパーさんが、今後も沢山増えていくことを期待しています！本当にいつもありがとうございます。」

★5月から管理者：上條になりました。

職員研修：5/8 中野区障害福祉制度勉強会・6/12 重症児の療育について（つくば大学教授松原先生）・6/19 福祉職場で働くこと(社労士)

★助成金を受けました★

公益財団法人　損保ジャパン日本興亜福祉財団より、2018年度社会福祉事業助成金（NPO基盤強化資金助成）として30万円の助成金をいただきました。1月8日　損保ジャパン日本興亜本社ビルでの贈呈式に佐藤理事が出席。首都圏では9団体が地域福祉貢献の将来性が評価されて助成を受け、わたくしどもも地域福祉の向上にさらに寄与していきたいと思います。

★寄贈★

「アサヒ飲料株式会社」様が行っている「ひなまつりに笑顔でカンパイ」という取り組みの一環で、なかのドリームが加入している「全国重症児者デイサービス・ネットワーク」経由でカルピスを寄贈いただきました。アサヒ飲料様ありがとうございます！

賛助会費・寄付のお願い

・賛助会費1口3,000円
・寄付金　1,000円~
（必ず賛助金か寄付金かを明記ください）
①【ゆうちょ銀行から】
[口座記号・番号]
00190-3-420254
同封のお振込用紙をご利用下さい
②【他金融機関から】
ゆうちょ銀行
[店名・店番] 019（ｾﾞﾛｲﾁｷｭｳ）
[種目]当座
[口座番号] 0420254
[口座名]特定非営利活動法人なかのドリーム